

## 2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24301	薬理学 Pharmacology	野村 裕子	専門	2	選択	2年前期
<b>科目の概要</b>						
栄養士業務及び医事業務に必要であるばかりでなく、私たちの身近にある「薬」について学び、薬物の生体への作用、薬理効果、代謝経路、副作用など、薬物治療の基礎知識について理解する。この授業では、客観的な証拠に基づいて科学的にものごとの判断ができる能力を身につける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 投与された薬物の生体内運命と薬効 ② 医薬品の法律による規制 ③ 各医薬品の作用機序、薬理効果、副作用 ④ 薬理学専門用語 ⑤ 薬物の知識			① 薬の作用点の薬物受容体を理解し説明できる ② 医薬品に関する法律を理解し説明できる ③ 薬の作用機序、薬理効果、副作用を理解し説明できる ④ 薬理学専門用語を理解し説明できる ⑤ 必要な薬物の知識を身に付けることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、講義資料や参考書を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力					
チームで働く力	発信力					
	傾聴力					
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 講義資料の配布 参考文献: 「シンプル薬理学」 野村隆英ら著(南江堂)						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 「生理学」、「解剖学」 資格との関連: 医療管理秘書士、医事管理士						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
配布する講義資料に授業中加筆、印を付け自分のノートを作る(赤色鉛筆を持参)。メモページはネットや図書館利用での知識を加えて活用する。講義中に重要と説明された箇所は復習し、知識を身に付ける。			配布された講義資料は忘れず持ってくる。自分のノートを作成するので無くさないようにする。講義中の私語は他の学生に迷惑なので慎む。スマートフォンは授業で使用する時以外は電源を切っておくこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	75	①	✓	医薬品に関する法律を理解できていること。 薬の作用機序、生体内運命などの総論と各薬物の薬理効果、副作用を理解できていること。 薬理学専門用語を理解できていること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト	20	①	✓	授業での重要箇所の理解度を確保するための7回の小テストに的確な記述による解答ができること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	5	①	✓	主体性: 課題をするのに、講義資料・文献を使って自己学修をする。課題発見力: 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極める。規律性: 私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		試験を受けることができる出席日数は大学の規定に従う。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100		✓	筆記試験、7回の小テスト及び授業態度の成績を総合して評価する

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
薬物の作用機序を的確に説明できること。(①) 薬物の薬理効果、副作用を的確に説明できること。(②) S(秀) = ① + ②、A(優) = ①又は②	主な薬物の薬理効果、副作用を説明できること。 (①) 薬理学専門用語を説明できること。(②) B(良) = ① + ②、C(可) = ①又は②

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	総論:薬理学とは何か、薬と法律、薬理作用と作用機序①	講義 インターネットでの検索(携帯可) 授業中での質問(口頭で答えた後フィードバックする)	医薬品に関する法律を理解し、説明することができる。	(復習)ドラッグストアに行き医薬品表示の確認。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
2週 /	総論:薬理作用と作用機序②、薬の生体内運命と薬効	講義 インターネットで検索(携帯可) 授業中での質問(口頭で答えた後フィードバックする)	薬の作用機序、薬の作用点の薬物受容体を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
3週 /	総論:薬物相互作用、薬物治療に影響する因子、新薬の開発 末梢神経作用薬:自律神経系の基礎知識①	講義 インターネットで検索(携帯可) 授業中での質問(口頭で答えた後、フィードバックする)	薬物相互作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
4週 /	末梢神経作用薬:自律神経系の基礎知識②、コリン作動薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
5週 /	末梢神経作用薬:コリン遮断薬、アドレナリン作動薬	講義 授業中での質問(記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
6週 /	末梢神経作用薬:アドレナリン遮断薬、自律神経節作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
7週 /	中枢神経作用薬:各種全身麻酔薬、鎮静睡眠薬、麻薬性鎮痛薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
8週 /	中枢神経作用薬:抗てんかん薬、向精神薬、抗パーキンソン病薬	講義 授業中での質問(口頭で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習)重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	心・血管系作用薬: 心不全治療薬、狭心症治療薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
10週 /	心・血管系作用薬: 抗不整脈薬、降圧薬、脂質異常症治療薬	講義 授業中での質問(口頭で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
11週 /	抗血栓治療薬 解熱鎮痛薬と抗炎症薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する	180	主体性 課題発見力 規律性
12週 /	免疫調節薬と免疫療法薬 糖尿病治療薬 消毒薬	講義 インターネットで検索(携帯可) 授業中での質問(口頭で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
13週 /	抗感染症薬: 抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
14週 /	抗悪性腫瘍薬 気管支喘息治療薬 消化性潰瘍治療薬	講義 授業の開始時に、小テスト(復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする)	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習) 講義予定の資料を予習する。	180	主体性 課題発見力 規律性
15週 /	授業の統括 (質疑応答に参加し授業内容を理解する)	講義 授業中での質問(質問に記述で答えた後、フィードバックする)	専門用語、薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 自分で解答できなかった問題を復習する。	180	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力